

令和7年度新たな地域コミュニティ支援事業における評価結果について

評価基準

S：区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。

A：区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。

B：区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。

C：区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。

【評価項目1】 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組

評価	左記の理由
A	・地域ごとの課題について、阿倍野区に関わる様々な関係者が持つ特性をマッチングさせ、ニーズに寄り添った支援に取り組んだ。 ・あべのほっとカフェの開催で、多くの世代と意見交換を行い、地域活動について一緒に考えることができ、若い世代と地域がつながる機会を提供できた。 ・まちづくりセンターの SNS（Facebook や Instagram 等）やホームページなどで地域活動協議会の情報発信を行い、地域活動の見える化を図った。

【評価項目2】 事業の実施体制等

評価	左記の理由
A	・スタッフを地域担当として割り当て、地域の状況を詳細に把握することで地域の特性に合った提案を行うことができる体制が整っていた。 ・他区との情報共有や月1回のアドバイザー会議を通じて、阿倍野区に適した支援方法を検討し、効率的な支援を行った。

【評価項目3】 取組効果

評価	左記の理由
A	・まちづくりセンター等の支援について満足している割合や地域が自律的に運営されていると感じている割合が8割を超えており、高い水準となっている。

【総合評価】

評価	左記の理由
A	・地域住民と学生、大学、企業等の連携を具体化することで、地域活動を支える関係性や可能性に広がりが見られた。また、多様な関わり方を通して、地域活動に取り込むために必要な視点を共有することができ、今後の自律的運営、継続した組織運営に向けてのつながりが見られた。 ・組織運営支援や会計支援、広報支援、ICT 支援により地域活動協議会の安定した運営につながる支援を行った ・上記のことやアンケート調査結果からも効果的な地域支援を実施したと判断できる。